

令和7年6月定例会 一般質問

令和7年6月17日（火）

| | 質問者 | 質問項目・要旨 |
|---|-------------------|--|
| 1 | 遠藤 幸徳 (民政クラブ) | 1. 水産行政について ・釜石市魚市場の経営と市の関与について 2. 消防行政について ・防火水槽と消防水利の現状と課題について |
| 2 | 山崎 長栄 (公明党) | 1. P F A Sについて ・P F A Sに対する認識とその対策について 2. 仕事と介護の両立について ・高齢化社会・介護時代を乗り切るための法整備について 3. シビックプライドについて ・郷土愛と異なるシビックプライドの所見について |
| 3 | 井筒 健太郎 (創政会) | 1. 小野市長の掲げる4つの柱の1つ「教育の充実」について ・教育の充実が小野市長の掲げる4つの柱の1つだが、市の全体予算に占める教育費の割合が減少傾向にある。これで教育の充実が本当に図られるのか ・教育費割合の減少は、教育の質の維持・向上に支障をきたさないのか ・日常の授業や教師の負担軽減、ICT 環境整備等、教育環境への投資は十分か ・市長の言う教育の充実は、ハード面だけではなく、子どもたちの学びそのものや学校や家庭での学習生活の充実にこそ向けられるべきではないのか 2. 学校教育について ・子どもの学びのラーニングと休暇のバケーションを組み合わせた「ラーケーション」を導入している自治体がある。平日に体験や探究の学び・活動を自ら考え、企画・実行できる日として設けられており、欠席扱いとならない。当市でも導入の検討をしてみてもどうか ・当市での情報リテラシー教育についてどのような時間にどのような内容で行われているか |
| 4 | 工藤 聡一郎 (令和クラブ) | 1. 人口減少対策について ・結婚支援事業のあり方を再考する必要があるのでは。 ・定住支援施策の公平性の課題に対し、どのような対策を講じるのか。 ・今後、どのように若者や女性が釜石で安心して暮らし、活躍できる環境を整備しようと考えているのか。 2. 教育行政について ・中心市街地を含む特定の地域から小中学校がなくなる可能性についてどのように認識しているか。また、その地域コミュニティへの影響についてどのように見解を持っているか。 ・小学校の学校統合を行う際に、低学年部分を分校として存続させる方策について、どのように評価しているか。また、当市での導入の可能性は。 ・学校統合により使用されなくなる校舎や施設について、どのような活用方針を持っているか。特に、子どもの居場所の確保や、中学校部活動の地域移行における活動拠点としての整備について具体的に検討されているか。 |

令和7年6月定例会 一般質問

令和7年6月18日（水）

| | 質 問 者 | 質 問 項 目 ・ 要 旨 |
|---|------------------|---|
| 1 | 佐藤 憲弘 (民政クラブ) | <p>1. 森林整備計画と森林防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民家や車道に対しての倒木時、山林所有者に賠償責任が生じる。民家や車道に対する支障木の伐採の優先度は高いと思うが見解は ・林野火災の延焼防止策として、岩手県が目指している防火林、防火帯の設定率に対する現在の設定状況は ・十数棟ほどの大規模火災時、被災者が避難所での生活を余儀なくされる想定日数、仮設住宅や公営住宅入居までに要する想定日数は ・森林環境保全直接事業に当市での補助率は68%ですが、周辺市町村には93.5%補助率の追加支援をおこなっている自治体がある。当市の追加支援策は <p>2. 鳥獣対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟回収作業時にウインチ等を使用し、効率化を図る等、関係者から支援の要請はあるか ・二ホンジカ回収後、書類を簡素化して欲しいといった要望から改善したようだが、改善内容と関係者の反応は ・森林作業道整備は狩猟後の回収効率化が図られる。森林整備、鳥獣対策の両面からも早期に検討、整備すべきでは |
| 2 | 細田 孝子 (公明党) | <p>1. 住環境整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家・空き地対策について ・公園等の維持管理について <p>2. 福祉行政について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングフレイル予防について ・軟骨伝導イヤホンについて <p>3. 投票率の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票機会の創出と利便性について ・小中学校への主権者教育について ・投票支援カードの周知について |
| 3 | 磯崎 翔太 (創政会) | <p>1. パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位の法律において、同制度の宣誓者が享受できる権利が制限されているにもかかわらず、当市が同制度を導入する意図は ・同制度が施行された場合に、学校教育上、親権を有さない同性のパートナーは保護者として認められるのか ・条例化ではなく、要綱での運用に固執する理由は ・パブリックコメントの結果は <p>2. 教育環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校で不審者侵入を想定した訓練はどのように実施されているか ・不審者が校内に侵入しないようにどのような対策が講じられているか ・不審者が侵入した場合にどのような対策を講じているか <p>3. 地域振興策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨今の事業者の休業、廃業、閉店、撤退が相次いでいる理由をどのように捉えているか ・前回の釜宴会キャンペーンの結果は <ul style="list-style-type: none"> ① 開催期間、予算消化に要した日数 ② 利用された店舗と特徴 ③ 店舗別の利用人数及び利用回数 |

令和7年6月定例会 一般質問

| | | |
|---|------------------|--|
| 4 | 佐々木 聡 (令和クラブ) | <p>1. 釜石市立図書館の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政党機関紙を置くことへのルールはあるのか <p>2. 小中学校の水泳授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳授業の実施状況は ・水泳授業の必要性と意義は ・プール授業がなくなった場合の影響は <p>3. 小中学生の自己肯定感について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒の自己肯定感の実情は ・児童、生徒の自己肯定感が低下する要因は <p>4. 物流拠点都市釜石について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾物流による費用対効果の現状は ・釜石港コンテナ取扱量の見込みは |
|---|------------------|--|

令和7年6月定例会 一般質問

令和7年6月19日（木）

| | 質問者 | 質問項目・要旨 |
|---|------------------|---|
| 1 | 三浦 一泰 (民政クラブ) | 1. 若者の定住促進について ・若者の定住促進の取り組み状況とその課題、今後の取り組みは 2. 教職員の働き方改革について ・時間外在校時間及び持ち帰り業務時間の労働時間管理の状況は ・釜石市立学校における教職員の働き方改革プラン取り組み結果と課題は 3. 釜石市役所内の働き方改革について ・労働時間管理の状況は ・令和6年度働き方改革実施計画の取り組み結果と令和7年度の実施計画は |
| 2 | 古川 愛明 (創政会) | 1. 産業振興行政について ・うのすまい・トモスの交流館・未来館の利用、使用状況は。 ・交流館の空店舗となっている部分の実態と今後の予定は。 ・交流拡大地域観光資源活用事業補助金の活用状況は。 ・みちのく潮風トレイルへの取組は。 ・みちのく潮風トレイルの市観光地との連携は。 ・みちのく潮風トレイルのインバウンドへの周知、引き込む方法は。 ・箱崎半島大沢遺跡付近に利用数調査ということで開催されているカウンター設置の意味は。 2. 市民生活行政について ・市内における特殊詐欺の発生状況は。 ・特殊詐欺への発生防止啓発についての取組は。 |
| 3 | 村田 信之 | 1. 魅力ある釜石の義務教育をどうつくるか ・これまで進めてきた学校規模の適正化について、市としてどのように評価し、どのような課題を認識しているのか。（現状と課題） ・「志」「強く生き抜く力」「未来を拓く人づくり」といった理念を、学校の再編や教育環境の整備にどのように具体化していくのか。（目指す姿） ・釜石市が描く“まちぐるみの学び”の方向性を、地域や保護者とどう共有し、どう納得と協働を生み出していくのか。 「オープンフィールドカレッジ」などの構想や、地域との連携の実践を踏まえて問う。（具体的な取組） |
| 4 | 深澤 秋子 | 1. 物価高騰対策について ・長引く物価高騰は、市民生活を圧迫し、とくにも米不足による米価高騰は深刻で市民への支援が必要と考えるが見解は。 2. 国保、資格確認書について ・マイナ保険証の登録率と利用率の現況は。 ・厚労省はマイナ保険証の有無にかかわらず75歳以上に資格確認書の送付を決めた。すべての国保加入者に資格確認書の送付が必要と考えるが、当市の見解は。 3. 教育行政について ・小中学生の健康診断について ○要精査の多い項目は。 ○要精査の未受診率はどのくらいか、なぜ受診できていないのか、背景から見えるものは何か。その対応は。 ○不登校児童生徒の健康診断への対応は。 ・小中学生の肥満は生活習慣病への懸念があるが対応は。 4. 道路行政について |

令和 7 年 6 月定例会 一般質問

| | | |
|--|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none">・大地震による津波が予測されるなか、高齢者の避難行動を妨げる幅員が狭く段差のある歩道の解消が必要ではないか。ユニバーサルデザインの観点から伺う。 |
|--|--|--|